

(科目コード : 1100820072Y2)

【改訂】第18版(2017-03-21)

【科目】国語表現

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】2組 2年

【担当教員】前期：太田 たまき  
後期：太田 たまき

### 【授業目標】

論理的な文章を客観的に理解することができる。  
文学的な文章を多角的に鑑賞することができる。  
自己の考えを論理的、客観的に表現するための基本的な能力を養うことができる。  
現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字等の基礎的知識について理解を深めることができる。

### 【教育方針・授業概要】

論理的文章を教材とする授業においては、語彙・文法的事項を丁寧に確認しつつ、文章の展開に即して論旨を正確に把握し、論説内容に検討を加える。併せて、論旨の把握、意見文の書き方を身に付ける。

文学的文章・韻文を教材とする授業においては、登場人物の心理を筋に即して読み取ること、あるいは凝縮された表現からイメージを膨らませる鑑賞力を身に付けるとともに、それに対する感想を表現できる力を養う。

### 【教科書・教材・参考書等】

教科書：精選 国語総合 現代文編：筑摩書房：9784480900456

参考書：新訂 総合国語便覧：第一学習社：9784804033013

参考書：常用漢字フォルダ：浜島書店

### 【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

必要に応じて視聴覚教材を使用する。

### 【メッセージ】

2年生の国語表現は、他者の書いた文章を正確に理解することから始まり、そこから自分の意見を持ち、表現する力へと発展させていきます。ノートは縦書き使用を原則とし、授業には常に国語辞典と国語便覧を持参してください。授業の冒頭に毎回漢字テストを行いますので、予習の習慣を身につけましょう。

### 【事前に行う準備学習】

『新訂 総合国語便覧』（第一学習社）の「夏目漱石」のページ（pp.246-249）、「意見文」「読書感想文」の書き方の説明（pp.440-441）を読んでおいてください。

### 【成績評価方法】

[前期]中間試験：40%、期末試験：40%、漢字テスト：10%、提出物：10%

[後期]中間試験：40%、期末試験：40%、漢字テスト：10%、提出物：10%

### 【本校の学習・教育目標】

(E-1) 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる

### 【授業計画】(国語表現)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	ガイダンス	国語表現の授業の概要を述べ、その意義と目的について説明する。		漢字テストの準備
第2回	評論文の基礎	評論文の在り方と基本的な読解方法を理解する。		漢字テストの準備
第3回～第6回	ことばとは何か(評論1)	あまりに自明の存在である「ことば」について、あらためて考えなおす。		漢字テストの準備
第7回	意見文の書き方	評論文の読解学習を踏まえ、自分の意見を述べるための基礎を学ぶ。		漢字テストの準備
第8回	文学史の基礎	近代文学史の基礎を身に付ける。		漢字テストの準備
第9回～第12回	夢十夜(小説1)	有名作家による作品を味わい、表現を吟味する。		漢字テストの準備
第13回～第15回	演じられた風景(評論2)	日本文化論の読解をとおり、日本文化の個性と文化論の在り方を学ぶ。		漢字テストの準備
第16回～第19回	カプリンスキー氏(小説2)	細部の描写の中に秘められた主人公の内面を読み取る。		漢字テストの準備
第20回～第23回	感想文とブックレポートの書き方	主観文と客観文の違い、感想文とブックレポートの違いを学ぶ。		漢字テストの準備
第24回～第27回	短歌・俳句(詩歌1)	日本語の定型詩である短歌・俳句の基礎を味わい方を学ぶ。		漢字テストの準備
第28回～第30回	文章表現の基礎	文章を書く際の基本的なルールを学ぶ。		漢字テストの準備